

特集Ⅱ

現在ドラッグストアが健康に関するあらゆる相談の窓口になり、街の健康ハブステーション。構想を立ち上げております。素晴らしいものです。この構想はわたしの意見では健康維持のための社会コストが高くなっている欧米で必ず受けると思っています。世界一のスピードで高齢化するのは日

これからのドラッグストアについての提案はリポジショニングです

取り入れた商品、米国の健康食品やクリニカルフード、スマイル食品、ヘルスサポート食品など、これらに充実させて

ポット」などをコンセプトにした商品をより積極的に取り入れることが大切です。

この新ポジショニングは「街の健康アンバサダー」とも呼ぶのでしょ

れた社会を支えるソーシャルコストを下げることか？ などが大きな社会的関心事になります。

1954年生まれ 米国オハイオ大学東南アジア専攻修士課程修了。 コロンビアビジネススクールシニアエグゼクティブプログラムコースでリーダーシップを学ぶ。 グローバル企業(ロリアル、エイボン、ベーリンガーインゲルハイム(エスエス製薬))でトップエグゼクティブとしてグローバルビジネスを展開。2012年コワヘルスケアアメリカの立ち上げを経て、2017年から経営コンサルタント。 米国でのビジネス展開の基礎はエイボンニューヨーク本社でのグローバルブランド開発。米国実績11年のグローバル視点、マーケティング思考で日本企業の進化に新たな風を吹き込む。

ストラテジーコンサルタント 羽鳥成一郎氏

グローバルシンキングで日本の企業を元気にする

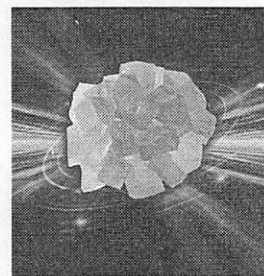
連載 今こそ求められる、新たな戦略 最終回



APAコーポレーション(愛知県安城市、50566-926257)は、国内珪素市場の約9割のシェアを持つ水溶性珪素「ウモ(u m o)」を製造している。2004年の上市以降、食品・化粧品・農業などの各種展示会に「ウモ」

の販売代理店とともに出展し、同素材の認知普及に取り組んだ結果、今では健康やサプリメントをはじめ、一般食品や清涼飲料水、化粧品、農業・水産・畜産などさまざまな分野で用いられている。

「ウモ」原料のラインアップとして、粘性の無い無色透明の液体で、食品区分としては最大量の珪素含有量8000~9300ppmで規格した食品用、サプリメント、清涼飲料水、化粧品向け原料「ウモ濃縮溶液」、山吹色の粉末で、



国内産の石英(水晶)から独自製法で抽出

水溶性珪素「ウモ(u m o)」 医師や学識者と連携し、エビデンスの構築にまい進

国内産の石英(水晶)から、独自製法で抽出した水溶性の食用珪素。非結晶で完全に水に溶解し、固体、粉末、液状にもなるといった特徴を持つ。

APA社では、日本珪素医科学学会や日本珪素医療研究会に所属する多くの医師や学識者と連携

安全性や有効性に関する各種研究データ、国内製造、品質などが評価され、国内市場に加え、最

近では、欧米や東南アジアなど海外からの問い合わせも増えている。

企業紹介 APAコーポレーション

同9%以上で規格したカプセルや打錠向け「微粒珪素パウダー」、粘性の無い白色の液体で、同1方5000ppmで規格した土壌改良や水耕栽培といった農業・畜産向け「水溶性珪素超濃縮溶液」などを製造している。

今後には各種エビデンスをもとに、骨質改善、血管の健康、免疫賦活などの分野における新規差別化素材としても普及させていきたいとしている。

なお、APA社では10月4日から開催された「食品開発展」の出展に続き、次回は11月22日から札幌で開催される「アグリ・フードプロジェクト」に出展を予定している。

Advertisement for probiotics with text: "生きたまま" and "腸まで届ける"

Advertisement for Bifidobacterium KMH001 with text: "加熱処理済みビフィズス菌粉末" and "ビフィズ菌™ KMH001"

特集Ⅱ

特集「珪素(ケイ素)」

美容、骨質強化、免疫賦活など用途拡大
健食・化粧品を中心に推定150億円市場

素材の認知向上とともに年々広がりを見せる非結晶性の珪素(ケイ素)。近年は「美のミネラル」をキーワードに、珪素配合の健食や清涼飲料水、化粧品などがエステサロンをはじめ、さまざまなチャネルで販売されている。健食・化粧品など珪素の市場規模は推定150億円。そのうちの9割以上が水溶性珪素「ウモ(umom)」を用いたものだという。同素材は、石英(水晶)由来が持つイメージの良さやポテンシャルだけにとまらず、医師や学識者と連携し、健康や美容に関するさまざまな機能性研究が行われている。また、農林畜水産分野でも応用されつつあり、「ウモ」を中心とした珪素市場は裾野の広がりとともにさらなる飛躍が見込まれる。

土壌改良はじめ農業分野での広がりにも期待

珪素とは

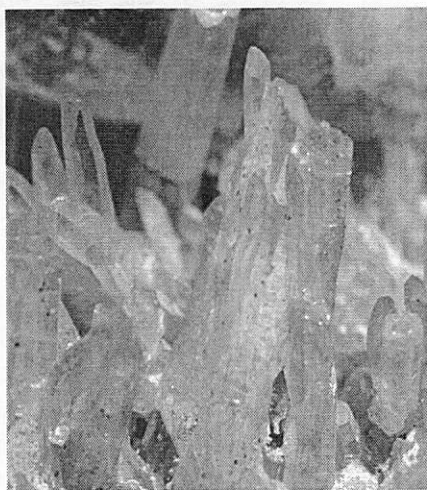
珪素(シリカ)は、地球上では酸素に次いで2番目に多い元素で、自然界では土や岩などに含まれる鉱物(ミネラル)の一種。地球上に存在する珪素は、太古の昔の藻類が化石となってきたもので、中でも珪素が最も多く含まれている鉱物が石英であり、その中でも純度99%以上に成長したものが水晶だという。

性(完全に水溶化された状態)で野菜などの食べ物から摂取している微量ミネラルとしての珪素の水溶性珪素が登場。さまざまな配合商品が登場している。

サプリメント、清涼飲料水、化粧品、シャンプー、入浴剤、フェイスマスクなど市場には現在、珪素を配合したさまざまな商品が流通している。健食・化粧品

といった特徴を持つことがら、さまざまな形態の商品に活用できることも強みとなっているようだ。「ウモ」の原料製造元であるAPPAコーポレーションによると、水溶性珪素濃縮溶液は国内外で約200社から販売されている。また、最近では健康受託製造企業から、打錠・カプセル向けなどのパウダー原料の引き合いが増えているという。

特に農業分野における応用では「食用珪素として活用されており、安心・安全に土壌改良ができること」「農業や化学肥料に頼ることなく免疫力・抗菌力の高い作物・土壌を形成できること」といった強みを持つ。



珪素が最も多く含まれる石英

配合商品は
バラエティー豊かに

日本国内でも珪素の認知は高まりつつあるが、まだまだ馴染みの薄い素材であることは否めない。しかし、ドイツなどでは珪素はホエイパウダー素材であるようだ。

を中心とした市場規模は150億円とされ、その市場の9割以上が国内産の石英(水晶)から独自製法で抽出した水溶性珪素「ウモ」を原料に用いた商品とされる。

同素材は、非結晶で完全に水に溶解し、固体粉末、液状にもなること

なわ、今年5月に開催された日本珪素医学科学学会「第20回学術集会」、同年7月に開催された日本珪素医学研究会「第5回臨床発表会」では、「金属解毒療法(発毒障害や難病)における珪素の役割」「産卵卵における水溶性珪素の血管、骨の力学的強度への影響」といった最新研究成果が発表された。

環境、有機農業などの分野での期待高く

珪素は、医療・健康・美容といった分野だけでなく、土壌改良などの農業向け、飼料として鳥に食べさせるなどの畜産向けと、さまざまな分野で広がりをみせている。

Duoyi Ligo™

2つのオリゴ糖で
整腸、美肌をサポート

すべての答えは、キングアガリクス。

原料切替・新製品開発等

OEM供給承ります